

創造と挑戦

1週間前の後期生徒会専門委員長の任命式の際に、第78期生徒会のスローガンが発表されました。スローガンは「創造と挑戦 ～全員で創り上げていく学校～」です。生徒会は、この学校の全ての生徒で組織されています。ですから、スローガンは、学校生活の様々な場面で、例えば、専門委員会や日々の学級での生活の場面で全生徒が意識するべきものです。皆さん一人一人が「創造と挑戦」という言葉を大切にしてほしいと思います。このスローガンの横断幕は、第77期のスローガンと同様に、正門の一番目立つところに掲示します。

スローガンの「創造」については、昨年度末の卒業式の式辞で一度取り上げていますが、ここでは、少し補足をしながら、改めてお話を進めていきます。

これからの時代、人工知能（AI）の飛躍的な進化など、皆さんが暮らす社会は急激に変化していきます。その変化を予測することはとても難しいことです。つい最近も「ChatGPT」に代表される生成AIが、私たちの社会に突如、姿をあらわしました。皆さんも知っているでしょう。例えば、〇〇という本の読書感想文を書くように人工知能（AI）に指示すれば、人工知能は膨大に蓄積されたデータの中から、人工知能が必要と判断した事柄を取り出し、つなぎ合わせ、それっぽい読書感想文を瞬時に仕上げるのです。使ってみたいと思うでしょうね。でも、ちょっと立ち止まって考えて！正しくない使い方をすれば、皆さんの「考える力」「表現する力」は一体どうなるのか？これだけを取り上げても、大きな変化です。

2030年の社会（あと7年！）では、皆さんの65%が、今は存在していない職業に就くと考える専門家もいます。また、今後10年から20年で、半数程度の仕事が自動化される可能性が高いと主張する専門家もいます。これだけ急激に変化する社会の中で、皆さんが生き抜いていくために必要な力の1つが「創造」する力なのだと思います。「創造」を辞書で調べてみると、「新しいものをはじめて作り出すこと」とありました。確かに、社会がどんどん変化していくのだとすれば、社会の変化に合わせ、これまでになかったモノや考えを創り上げなければならないのだと思います。

明治時代の歌人である与謝野晶子は、この「創造」ということについて、次のように述べています。「創造は、過去と現在とを材料としながら、新しい未来を発明する能力です」。

皆さんは、未来も見据えながら、新しい三尻中学校を創り上げていきます。すでに取り組み始めている「校則」や「制服」の改定はその1つです。現在「校則」「制服」にどのような課題があるのかを整理し、どのように課題解決していくのか…そんな簡単なことではありません。これは、スローガンの「挑戦」でもあります。生徒会本部役員を中心に、全員の力で、新しい未来の三尻中学校を創り上げていきましょう。